



瑞山会会報 No.43

編集発行
名古屋市立大学
経済学部同窓会
瑞山会編集部

<http://www.asahi-net.or.jp/~IW3K-KJM/zuizan.html> 平成18年12月10日発行

新学部長に就任して



名古屋市立大学経済学部長 神山眞一

「瑞山会の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

名古屋市立大学は本年4月に地方独立行政法人化し「公立大学法人名古屋市立大学」へと変わりました。法人化は、自己責任の下に効率的な大学運営を行い、少子化による大学全入時代にも対応可能な活力に満ちた大学に変わることを目的としております。

今のところ外からでは変わったように見受けられないかもしれませんが、大きな変化が予想できるような改革が矢継ぎ早に実施されております。経済学部においても、在学生および地域社会にとって学び易く役に立つ大学を目指して日夜努力を重ねております。

このような改革の一環として、経済学部は、来春、経済環境の変化および学生ニーズの変化に対応するため、従前の経済学科と経営学科の2学科体制を改編・拡充し、公共政策学科（90名）、マネジメントシステム学科（80名）、会計ファイナンス学科（60名）の3学科体制へと移行し、入学定員を200名から230名へと増員いたします。経済学部の入学試験は、商業高校からの推薦入試A、センター試験のみを利用した推薦入試B、前期日程入試、後期日程入試、外国人特別入試の5種類ありますが、募集の始まった推薦入試Aにおいては志願者が昨年の3倍強となり、予備校の調査に依れば前後期日程入試においても志願者が増加し入学難易度がかなりアップすることが予測されております。これらの入試における変化は、今回の学部改組が受験生から魅力あるものとして受け入れられた結果と推測しております。今後は、このような期待を裏切らないように教育面での努力を絶やさない必要があると考えております。

― 教員による研究面において、客観的評価基準の一つとして科学研究費の採択率がありますが、全国平均が20%強であるのに対して経済学部では75%程と極めて高く、教員の研究能力が高く評価されている結果であると思っております。

さらに、名古屋市を初めとした地域社会や産業界との連携事業を積極的に進めており、その成果が新聞等で報道されることが多くなりました。これまでは名古屋市役所の一部局であったため地域連携に一定の枠がはめられておりましたが、法人化されたことにより自由な活動が可能となったことに起因しております。

国公立大学の法人化は実施されてから日が浅く、その効果が少ないため、マイナス面のみが強調されておりますが、経済学部では法人化のメリットを最大限に活用し、ジミであるとされてきた外部からの評価を一掃し、活力ある大学になることを目指しております。そのためにも大学と同窓会の連携がこれまで以上に必要になると思われれます。同窓会の皆様におかれましても、今後とも後輩のため経済学部のためにご支援ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

〇〇〇 平成18年度瑞山会総会開催 〇〇〇

9月30日(土)午後4時から、名古屋市中村区名鉄グランドホテルにて平成18年度通常総会が開催されました。総会では開会の挨拶の後、全員で物故者黙とうを行い、続いて事業報告および新年度事業計画案の説明が前田会長より、また平成17年度決算および平成18年度予算案の説明が三宅会計部長よりなされました。続いて松原監事による監査報告がなされた後、新理事



推薦承認と質疑応答を経てすべての審議事項は承認されました。引き続き懇親会が行われ、市立大学理事長・西野仁雄先生を始め御来賓の方々、また現役ゼミ生3名を含め50名を越える参加者で盛大に行われました。今年は講演会を行いませんでしたので、そのかわり参加会員同士の語らいの時間を長く取ることができ、最後に全員で今後の瑞山会の発展を誓う三本締を持って午後7時過ぎ閉会しました。

(決算報告等は3ページをご参照ください。)

「瑞山会の益々のご発展を」

名古屋市立大学 理事長・学長 西野仁雄

多くの会員の皆様のご出席、また医学部および薬学部の同総会長のご出席のもと、18年度瑞山会総会、懇親会が盛大に開催されました。心からお祝いを申し上げます。瑞山会は創立29年を経た今日、会員7000名を越す一大組織となり、全国各地で各界のリーダーとしてご活躍されておられます。誠に頼もしく、またうれしく思いますとともに益々のご発展をお祈りいたします。

国内外の歴史ある大学を見るまでもなく、大学の発展には同窓会との連携が不可欠です。両者の熱い関係を築いていきたいと思っておりますので、今後一段のご支援をよろしくお願い致します。



会員の皆様へ

総会の開催御案内の方法が変わります!

平成19年以降の総会開催の御案内は郵送物でのお知らせではなく、「瑞山会ホームページ」と「一般新聞での掲載」の二つの方法に切り替わります。総会は毎年9月に開催致しますから、遅くとも一月前には告知を致しますので、参加を希望される会員は御覧いただいて申し込みをお願いします。

－新加入会員情報など－

平成17年度の卒業式は3月24日(金)名古屋市公会堂大ホールで行われ、202名(内留学生10名)が卒業しました。お祝いを申し上げますとともに、瑞山会第39期生として今後の同窓会での様々な交流の機会への参加をお待ちしています。また平成18年度の新入学生数は206名(内留学生6名)で、式典は4月5日(水)名古屋国際会議場センチュリーホールで行われました。

●平成17年度決算報告

第28期 貸借対照表

(平成18年3月31日現在) (単位 円)

借方	金額	貸方	金額
普通預金・現金	11,772,680	名簿発行引当金	0
りそなMMF	5,979,168	未払費用	19,135
貸付信託	6,560,000	運営基金積立金	26,296,312
金銭信託	2,003,599	(うち当期剰余金)	(609,551)
合計	26,315,447	合計	26,315,447

第28期 収支計算書

(自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日)

(収入の部) (単位 円)

勘定科目	予算額(A)	実績額(B)	差額(B)-(A)
会費収入			
(新入会費214名分)	4,280,000	4,280,000	0
各部預金利息	1,000	118	△882
運営基金利息	5,000	4,482	△518
名簿売上	0	16,000	16,000
補助金収入	0	0	0
収入計	4,286,000	4,300,600	14,600

(支出の部) (単位 円)

勘定科目	予算額(A)	実績額(B)	差額(B)-(A)
名簿発行引当金	0	0	0
名簿発行費用	1,000,000	1,542,292	542,292
会報発行費	800,000	743,740	△56,260
総会費	1,000,000	531,491	△468,509
事務費	290,000	173,262	△116,738
通信費	150,000	77,150	△72,850
事業運営費	720,000	623,114	△96,886
予備費	326,000	0	△326,000
支出計	4,286,000	3,691,049	△594,951
当期剰余金	0	609,551	609,551
合計	4,286,000	4,300,600	14,600

(注1) 名簿発行費用の内訳は以下の通りです。

名簿発行費用 (a) 3,906,692 名簿予約者収入 (b) 1,194,400
 広告収入 (c) 170,000 名簿発行引当金取崩 (d) 1,000,000
 差引 (a) - (b) - (c) - (d) 1,542,292

●平成18年度予算案

第29期 収支計算書

(自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)

(収入の部) (単位 円)

勘定科目	予算額(A)	前年実績額(B)	差額(A)-(B)
会費収入			
(新入会費)	4,120,000	4,280,000	△160,000
各部預金利息	1,000	118	882
運営基金利息	5,000	4,482	518
名簿売上	0	16,000	△16,000
補助金収入	0	0	0
収入計	4,126,000	4,300,600	△174,600

(注) 新入会費・予算額は平成18年4月28日入金確認(206名)分

(支出の部) (単位 円)

勘定科目	予算額(A)	前年実績額(B)	差額(B)-(A)
名簿発行引当金	800,000	0	△800,000
名簿発行費用	52,500	1,542,292	1,489,792
会報発行費	800,000	743,740	△56,260
総会費	1,000,000	531,491	△468,509
事務費	295,000	173,262	△121,738
通信費	150,000	77,150	△72,850
事業運営費	720,000	623,114	△96,886
予備費	308,500	0	△308,500
支出計	4,126,000	3,691,049	△434,951
当期剰余金	0	609,551	609,551
合計	4,126,000	4,300,600	174,600

(注1) 平成21年12月名簿発行に関わる同窓会負担予定額の1/4計上

(注2) 予算：個人情報管理費用 前年実績：名簿(第8号)発行費用

(注3) 会報1回発行費用 市大広報発送費用含む

(注4) 新支部補助金、OB表彰制度 等

2006年度役員名簿

理事

●会長

前田 勝昭 1期生(岡崎)

●副会長

多和田 眞 4期生(岡崎)

佐藤 克己 8期生(岡崎)

服部 篤典 18期生(安藤)

●庶務部長

伊藤 孝 6期生(山本)

●副庶務部長

渡辺 尚泰 3期生(柴田)

●庶務部

浅井 和良 1期生(静岡)

近藤 常夫 1期生(平田)

八木 得三 5期生(山本)

小笠原 幸生 6期生(中居)

荒深 美和子 9期生(木村)

倉地 弘美 14期生(松永)

木村 剛 17期生(辻)

吉田 和男 20期生(國村)

田中 多聞 31期生(程島)

●編集部長

榊原 茂 1期生(松永)

●副編集部長

中村 英利 20期生(西田)

●編集部

伊藤 幸雄 5期生(妙見)

鈴木 正彦 7期生(芝原)

田中 喜夫 7期生(岡崎)

寺沢 賢治 11期生(牛嶋)

水野 誠 13期生(宮川)

松川 倫典 16期生(塩見)

湯浅 伸庸 18期生(安藤)

鈴木 正 19期生(星野)

石川 勇治 21期生(上村)

柴田 光晴 22期生(神山)

家田 嘉人 23期生(星野)

佐藤 哲也 24期生(宮川)

高山 浩之 26期生(國村)

若松 理恵 26期生(國村)

清水 綾子 30期生(多和田)

柚田 明子 30期生(安藤)

奥村 光輝 31期生(多和田)

西脇 桂 33期生(安藤)

時國 均 33期生(森田)

松尾 裕次 34期生(森田)

●事業部長

逸見 和弘 1期生(松永)

●副事業部長

杉浦 晴義 5期生(松永)

●事業部

都島 忠比古 3期生(山本)

浅岡 邦康 3期生(傍島)

木村 新作 5期生(岩橋)

村井 清 6期生(山本)

岡田 美津雄 10期生(中居)

村岡 範久 15期生(松井)

畔柳 一 19期生(星野)

石川 常彦 23期生(國村)

●名簿部長

中村 正治 5期生(木村)

●副名簿部長

児島 完二 22期生(妙見)

橋本 光生 18期生(醍醐)

●会計部長

三宅 政臣 1期生(一谷)

●副会計部長

児島 和世 22期生(國村)

監事

栗野 泰次 1期生(大山)

松原 隆二 4期生(中居)

◆ 最終講議 安藤金男教授退官される ◆

日本経済経営専攻・安藤金男教授は、平成18年3月末をもって34年間の名市大における研究教育活動を終え退官されました。さる1月23日(金)に経済棟101教室に於いて、教職員、現役学生・院生、ゼミOBらほぼ満員の聴講者数という中、「私の考えてきたことー時間と所有の経済学」と題して最終講議が行われました。講議終了後、現役ゼミ生より花束贈呈があり盛大な拍手で先生をお送りしました。

なおこの最終講議の要項は、名古屋市立大学経済学会のウェブサイトから「オイコノミカ第42巻第3・4合併号」内でPDF形式で公開されています。



http://www.econ.nagoya-cu.ac.jp/~oikono/oikono/vol42/pdf/vol42_34/02_ando.pdf

会員からの声

会報の返信葉書で寄せていただいた皆さんからの近況、ご感想など：順不同、敬称は略させていただきます。

＜ 退職など ＞

- 定年退職後、次の会社へ再就職しました。
(西田豊一、宮川ゼミ S47、宇佐見プロパン)
- 5月末に退職しました。HPを開設し自分の世界探しをしております。
(丹羽史朗、牛嶋ゼミ S43)
- サラリーマン生活を卒業し、終の住処を新たにしました。
(稲田尚之、岡崎ゼミ S44)
- 定年退職し、神商非鉄(株)に勤務しています。
(酒井幾夫、松永ゼミ S46)
- 定年退職後、現在はダイハツ九州(大分県)にて総務の仕事をしています。
(田辺幹景、静岡ゼミ S44)

＜ 転勤など ＞

- 平成16年7月からタイへ赴任しております。
(鈴木辰夫、辻ゼミ S62、大同特殊鋼)
- 平成18年1月より宇都宮営業所に異動となり宇都宮市に在住しております。
(宮田光夫、西田ゼミ S61、豊田合成)
- 現在豪州在住です。(マクレナン恵子、辻ゼミ S58)
- 10月1日付けでタイホー工業(株)と(株)コーザイを合併し、代表取締役就任します。新社名は(株)タイホーコーザイです。
(浅井和良、静岡ゼミ S43)
- 9月頃からケニアにあるアフリカ人造り支援プロジェクトに赴任します。
(中野武、中居ゼミ S46、国際協力機構)
- タイへ赴任しております。
(佐藤広実、妙見ゼミ S48、柳河精機)
- 現在松本営業所勤務です。
(山田裕治、出口ゼミ H17、リンナイ)
- 6月に市原国際奨学財団のメセナ事務局担当役員に就任しました。(小野田雄二、上村ゼミ S53、(有)J.P.G.)
- 静岡生活六年目になりました。
(湯浅崇弘、籠谷ゼミ H5、JA全農たまご)

＜ その他 ＞

- 定年まであと一年を切りました。
(江崎憲夫、松井ゼミ S45、住友ベークライト)
- 来年は転勤で単身赴任かもしれません。
(中森啓二、松永ゼミ S55、日本生命)
- 定年間近になり第二の人生について真剣に考えるこの頃です。
(近藤道夫、西田ゼミ S48、明治安田生命)
- 近年、同窓生と会う機会が少なくなりました。また牛嶋ゼミ、名市大の同窓の方々との再会を楽しみにしております。
(荻野孝史、牛嶋ゼミ S55、岡崎市役所)
- 1期生も定年となりますが、中には企業戦士として亡くなった方もいます。未だに68会で会える人達もいますが、後輩の方々も同じような会を作ったらと....
(山西和弘、松永ゼミ S43、エルテック)
- 昭和22年生まれとして2007年問題が現実のものとなってきました。第二の人生設計を考えなくてはなりません。
(木村好広、藤田ゼミ S45、阪急交通社)
- 右往左往しながらなんとか生きています。ゴルフ練習で体力アップを計っています。
(小坂井啓次、柴田ゼミ S49、自営)
- 瑞山会みちのく会を作っていたきたいです。
(樋田定男、松永ゼミ S46、(株)チャンピオン)
- 卒業生であっても共通の利益を享受できるサークルとかゼミのようなものが有ると良いと考える。
(岡田美津男、中居ゼミ S52、名古屋市役所)
- 郡上の徹夜踊りに二夜連続日帰りで行って来ました。初めてでしたが踊って来ました。今度は下駄を鳴らしてみたいです。
(東文雄、松井ゼミ S57、ひがし経営相談事務所)
- いつも瑞山会の案内をいただくたびにとてもうれしく思います。
(林英治、安藤ゼミ S54、第一建築サービス)

～支部活動便り～

瑞鳳会 (トヨタ自動車名市大同窓会)

- 平成18年度総会等開催される -

去る6月23日(金曜日)、総会及び懇親会が開催された。当日は13名(経済卒11名、芸術工学部大学院卒2名)が出席。平成17年度の活動報告、会計報告が報告された総会では、今年度の新卒新入会員看護学部2名、医学部医局人事で入会の会員紹介があり現時点の会員数が65名であることが報告された。残念ながら今年も経済学部、人文社会学部の文系からの人会者なし。現役学生のトヨタ自動車入社へのチャレンジに期待したい。平成17年度母校経済学部の就職セミナー等へ吉田弘和君(92年経済卒)を派遣した事、高橋慎哉君(91年経済卒)の8月からの南アフリカ勤務、木村美保子女史(92年経済卒)の3月からスイスに本部のあるWBCSD(持続可能な発展のための世界経済人会議)事務局への出向貝谷知加女史(02年人文科学卒)の10月からベルギーにあるトヨタのヨーロッパ統括会社への出向などの会員消息が報告された。また幹事の村井(73年経済卒)の異動(4月より出向)に伴い吉田晴秀君(86年経済卒)の新幹事承認後、懇親会に移った。



懇親会では昨年フランス駐在勤務から戻った前述の吉田弘和君の現地での体験談や入社3年目にして早くも結婚する加藤充祥君(03年芸術工学部大学院卒)の話題などそれぞれの近況報告を交えて和気あいあいのうちに時間が過ぎた。最後に水谷良明代表(70年経済卒)より「それぞれの立場で母校からのトヨタへの入社を働きかけること」が提案され、再会を約束して3時間に及ぶ会が閉会した。その後、吉田新幹事の段取りで開かれた二次会、更に三次会まで有志による宴会が続いたことを記して報告とします。

(村井 清 第6期生)

(同窓会ホームページでは「OBの広場」というページを設けて、さらに詳しい会員皆さんの活動をお知らせしています。ぜひ御覧ください。)

山の畑読書庵 連載企画 第6回

「オランダモデルー制度疲労なき成熟社会ー」

長坂寿久著 日本経済新聞社 2004年7月 ISBN:4532148219

小泉政権から安倍政権に変わり、また、北朝鮮の核実験成功(?)などからアジア地域の情勢も騒がしくなる昨今、ますますこれからの日本の進むべき方向が問われている。新政権は「美しい日本」としてスローガンが掲げられはいるが、いまひとつその中身は明らかではない。そうした状況の中、日本の歩むべき道のお手本としてアメリカ的競争原理のみの国を真似ていいのだろうか、誰しもが思っている。ここに、この本の価値がある。すなわち、EU発足以来、経済的にも、社会的にも、また国際的にも優れた貢献をしている「オランダ(ダッチ)モデル」が日本の21世紀に目指すべき方向を垣間見ることが出来る。国民全体が読むべき書ではないかと思う。オランダは、江戸鎖国時代も含めてから唯一外国貿易が継続している外国であることは周知の事実であるが、それ以降は日本人にとって忘れ去られたような存在になっているが、しかし世界での役割はEUを初めとして重要な役目を果たしていることは意外と知られていない。それは、1970代に「オランダ病」といわれた高失業率からたった15年で「オランダの奇跡」といわれるほどEUの中の経済優等生になったという事実からも窺い知る事が出来る。この本はその背景をつぶさに紹介している。それはオランダから発生した「ワークシェアリング」という考え方から発生していると言われている。「ワークシェアリング」というのは「パートタイム」と「フルタイム」が白らが選択できる働き方で、その差別はなく、賃金は全く平等な考え方である。すなわち、個人の人生の生き方に沿った働き方が可能となる考え方、実際オランダでかなり普及している考え方である。その考え方はオランダでは、「ポルダー(開拓地)モデル(ploder model)」に由来するものである。もっともこの考え方は、最近この考え方がなくなりつつあるとして「オランダの悲しみ」としてラジオで放送されているそうである。しかし、著者は、オランダモデルの良さは、「コンセンサス社会」、「高齢者が過ごしやすい社会」、「社会悪の制御」、「NGOの政府のパートナー」、「環境対策の先進国」、「インフラ立国の高い競争力」の柱からなる、日本が今後進むべき方向として日本に最も馴染みやすい「21世紀のシステムモデル」として評価している。この考え方は、私もオランダに一時滞在したことがあることから全く実感できる。

(伊藤 幸雄 第5期生 大阪経済大学経営情報学部 ビジネス情報学科教授)

～事業部便り～

平成18年4月3日山崎川花見散策と茶会が名市大薬学部同窓会館薬友会館を利用して行われました。3月中旬に暖かい日が続いたので、今年は満開の桜をと期待してはいたのですが、直前に寒冷な日ばかりが続き昨年同様ちらほら咲きでした。医学部からは新同窓会会長の花井健次先生にもご参加頂き茶席で喫茶席でと学部を超えた交流ができました。4月15日には第47回OBゴルフコンペが犬山CCにて行われました。優勝は林嘉明氏(2期生)、準優勝は藤原悟氏(1期生)でした。5月3日には第15回硬式テニスの会が行われました。昨年同様今年も雲ひとつない晴天に恵まれ暑い日の熱戦となりました。優勝はS51年卒の飯田敏雄夫妻でした。9月3日は名市大キャンパス内にてバーベキュー大会が行われました。若い方たちの参加も目立ち盛況でしたが、懸命のスタッフの努力にもかかわらず対応が間に合わず初参加の皆様を戸惑わせてしまいました。次回はもっとコンロや食材などを用意して最初からバーベキューに参加できるようにしたいと考えています。真っ青な青空の下、汗ばむほどの陽気で医学部からは青山光子名誉教授、薬学部からは内田一枝薬友会副会長も参加頂き楽しいひと時でした。10月21日には小萱OGMクリークCCにて第48回OBコンペが開催されました。優勝は初参加の鈴木博氏(1期生)、準優勝林嘉明氏(3期生)でした。一期生も定年退職者を輩出する年齢になり行事参加者や、瑞山会運営メンバーの一層の参加が期待されます。次回は来春4月14日ベルグラビヤCCでの開催予定です。奮ってのご参加をお待ちしています。催事への参加申し込み、事業部へのご意見、ご要望等ありましたら、お気軽にご連絡ください。

事業部長 逸見和弘 TEL052-914-6221 E-Mail hem3@r3.dion.ne.jp

瑞山会年間行事案内

(平成19年)

4月1日(日)

山崎川花見と茶会

(薬友会館喫茶室
休憩所開放します)

4月14日(土)

OBゴルフコンペ

5月3日(祝日)

硬式テニス大会

(山の畑キャンパスにて)

9月2日(日)

バーベキューの集い

(山の畑キャンパスにて)

その他

9月 通常総会(兼代議員会)

12月 瑞山会報発行

年3～4回 理事会

(大学院経済学研究科人事)

※平成17年12月1日 異動※

(昇)教授 村瀬 英彰(経済政策分析専攻)
(助教授より)

※平成18年2月1日 異動※

(昇)教授 吉田 和生(経済政策分析専攻)
(助教授より)

※平成18年4月 採用※

教授 奥村 哲史(日本経済経営専攻)

講師 藤田 菜々子(日本経済経営専攻)

※平成18年3月 退職※

教授 安藤 金男(日本経済経営専攻)

教授 塩見 治人(日本経済経営専攻)

※平成18年4月1日 異動※

(兼)神山 眞一 経済学研究科長(学部長)

(昇)助教授 徳山美津恵(日本経済経営専攻)
(講師より)

(出)学部事務長 長田 寛治(健康福祉局へ)

(入)同上 加藤 達也(中区役所より)

～理事会便り～

●学内OB OG訪問を7月14日山の畑キャンパスで開催、瑞山会OBの企業人事担当者の方などに参加していただき対応しました。御協力いただいたのは、瀧定名古屋(株)、(株)デイスコ名古屋支社、(株)トーエネック、トヨタ自動車(株)、名古屋市役所、日本生命保険(相)、マルヤス工業(株)、(株)三菱東京UFJ銀行、ユニー(株)(五十音順)でした。ありがとうございました。

●平成17年度瑞山会賞受賞者は以下の卒業生の方々です。おめでとうございました。(順不同、敬称略)

濱口 朋香 塩見ゼミ 柘植 麻也子 茨木ゼミ

大矢 花菜 岡田ゼミ 大澤 有子 向井ゼミ

廣瀬 敦子 山本ゼミ

●理事会を開催しました。

平成18年2月14日(火)新春懇親会、平成18年4月20日(木)

平成18年6月22日(木)

平成18年8月24日(木)

訃報

次の会員の方が亡くなりました。慎んでご冥福をお祈りいたします。

原田 知明氏 (H12、33期生村瀬ゼミ 平成17年8月)

高木 和弘氏 (S53、11期生岩橋ゼミ 平成17年10月17日)

会員ご逝去に際しましては、あらかじめ庶務部へご連絡があれば「慶弔金品等支給基準」に依り、同窓会から生花一對と弔電をお送りさせていただきます。

連絡先：瑞山会庶務部長 伊藤 孝(6期生) TEL 052-931-5546

【編集後記】皆さんからの寄稿をお待ちしています。エッセイ、書評、ゼミOB会の話、学生時代の思い出で等々をお待ちしています。写真などの掲載も可能です。またどのような記事を掲載してほしいかなど、アイデアがありましたら同封の返信葉書などでお寄せください。その他、同窓会ホームページにはさらにいろいろ詳しく情報を載せています。こちらもよろしくお祈り致します。

編集部 服部篤典 18期生

e-mail : atstique@rr.ij4u.or.jp